

私たちは過去を超えます。  
常識を超えます。  
国境を超えます。



チーム環のロゴマークは、深い悲しみを乗り越えて、情熱をもって未来へと向かう、15の地域チームが団結する様子を表しています。



「死と再生、未来へとつなぐ」がメインテーマ。プロジェクトのゴールであるこのイベントは、パリ市当局の特別な協力を得て、**2014年8月30・31日**にかけて、エッフェル塔の下に広がる**シャン・ド・マルス公園**で開催されます。東北の魅力の世界に向けて紹介し、東日本大震災の津波と復興を象徴するバルーン群やドミノ、被災の語り、生徒達の過去・現在・未来を綴った「100の物語」のパネルが会場を取り囲み、福島県・宮城県・岩手県を中心とした地域ブースと、協力をいただいている企業ブースが祭を盛り上げます。

また、9月2日には、OECD本部中庭への桜の植樹のセレモニー、「2030年の学校教育を考える」生徒・大人合同会議が開催されます。



# 東北復幸祭

in PARIS

—死と再生、未来へとつなぐ—

**2014年8月30日(土)・31日(日)**  
**パリ市 シャン・ド・マルス公園**

東日本大震災からの教育復興プロジェクト

9月2日(火) 桜の植樹 (OECD本部中庭)  
生徒大人合同熟議 (OECD本部)  
「私たちの学校、私たちの未来、2030年の学校」

OECD  
東北スクール

OECD TOHOKU SCHOOL



# 東北復興祭 in PARIS

—死と再生、未来へとつなぐ—

## ■メイン会場

- (1) 津波と勇気のパルーン(福島県・いわき市)
- (2) ドミノ倒し(福島県・いわき市)
- (3) 100の物語
- (4) 賛同企業の提灯の展示
- (5) 天旗Tembata(kite)の展示(宮城県・気仙沼市)
- (6) 「書」の「のぼり」の展示(福島県・二本松市)

## ■ステージ

- (1) オープニング
- (2) 東北と東日本大震災、OECD東北スクールの紹介
- (3) 参加チームとアトラクションの紹介
- (4) イメージソングの披露とミニライブ
- (5) 鹿子躍Shishi-Odori(岩手県・戸倉)
- (6) サンマdeサンバ(宮城県・女川)
- (7) 「語り」(福島県・いわき、他)
- (8) 福島、宮城、岩手3県のアピール
- (9) 協賛企業等のアピール
- (10) 世界へのメッセージ



## コンテンツの紹介

### ■主催者ブース

- (1) インフォメーション
- (2) 日本の紹介

### ■生徒の地域ブース

- (1) スタンプラリー
- (2) 各地域を紹介する写真と映像記録
- (3) 東北各地の特産品の紹介
- (4) 生徒の企画したゼリーの紹介(福島県・伊達市)
- (5) 東北の祭りの紹介(福島県・相馬市)
- (6) 放射能問題と再生可能エネルギーの実験とジオラマ(福島県・安達)
- (7) 天旗Tembata(宮城県・気仙沼市)
- (8) 「ふるさと女川」のディスプレイ(宮城県・女川町)
- (9) ご当地キャラクター
- (10) 「書」のパフォーマンス
- (11) 日本文化・遊びの紹介
- (12) パリ応援団による友情のブース

### ■賛同者ブース

- (1) 被災した東北3県の産品や観光の紹介
- (2) 東日本大震災の報道写真
- (3) 賛同企業の紹介
- (4) 大学の留学案内

日時：  
2014年  
8月30日・31日  
11:00~17:00

場所：  
パリ市  
シャン・ド・マルス公園

東北復興祭(環WA)in PARIS  
会場イメージ  
ブース群(上)/パルーン群(下)

東日本大震災からの教育復興プロジェクト

**OECD**  
**東北スクール**  
OECD TOHOKU SCHOOL

統括責任者 三浦浩喜(福島大学理事・副学長)

運営事務局 事務局長 七島貴幸

〒960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学内

Tel: 024-503-3803 Email: info@oecd-tohoku-school.com

OECD シニア政策アナリスト 田熊美保(OECD 本部)

2, rue André Pascal - 75775 Paris Cedex 16

Tel: +33 1 45 24 92 65 Email: miho.taguma@oecd.org



<http://www.oecd-tohoku-school.com>